

教えて、玉ちゃん!

「○○って、よく分からない〜!？」



お任せください。
「ややこしい話」を「やさしい言葉」で
解説いたしましょう!

ホワイトカラーエグゼンプション?

「ホワイトカラー・エグゼンプション」

最近の新聞でこの言葉の出ない日はない、とっていい位頻繁に見かけます。
では、一体どんな制度?ということでもとめてみました。

★簡単に言ってしまうば・・・

一言で言ってしまうば、「一定の年収以上の会社員を1日8時間の労働時間制度から外す」
つまり、「残業代をなくす」という制度です。

★そもそも・・・

この考えは、「ホワイトカラー」は、労働時間の長短に対して賃金を払うのではなく、労働の成果
に対して賃金を払う、というのがその立脚点です。

★対象者はどうなるの?

管理職の一步手前の人たちが対象になると言われています。
年収の要件をつけるようですが、それをいくりにするかで検討されています。

★賛成意見として

- ・企業側としては残業や休日出勤の割増賃金を払わなくて済み、人件費が削減できる
- ・ダラダラ残業が減り、短時間で仕事を終わらせる優秀な社員が増える
- ・時間を基準とした現在の労働法制そのものが時代遅れになってきている

★反対意見として

- ・サービス残業を合法化する可能性がある
- ・現在でも、変形労働時間制、フレックスタイム、専門業務・企画業務に関する裁量労働制が
すでに存在し、それに対応できる
- ・実質、年収ダウンにつながる
- ・健康管理面が心配

★実際どうなるの?

今年の国会に法案が提出されるかどうか分かりません。
反対意見も多く、夏の参議院選挙への影響も考え見送られる可能性もあります。

★ひとつ言えることは・・・

この制度導入の議論の発端は、「賃金は労働時間の長短ではなく、成果に対して払う」という
考えです。成果を評価しようという動きは、昨今の「成果主義ブーム」もあって、大きな流
れになっています。しかし、単純に「成果」だけを評価の対象にすることによる弊害もいろいろ
叫ばれています。
ただ、「何を?」「どう?」「頑張ったら、「どんな?」評価をするのか。を明確にすることは、
このホワイトカラー・エグゼンプションの法制化云々以前の問題として必要ではないでしょうか。